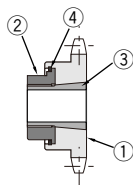


部品名称

- ①スプロケット本体
- ②ナット
- ③スリーブ
- ④止め輪

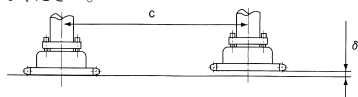


■取り付け

- (1)軸表面のゴミをふきとり、オイルまたはグリースを薄く塗ってください。(モリブデン系の減摩剤を含有したオイル、グリースは使用しないでください。)
- (2)スリーブ・ナット及び止め輪はスプロケット本体に組み立ててありますので、そのまま軸に取り付けてください。取り付けにくい時はナットを緩み方向に回してください、取り付けが容易になります。
1ヶ月以上保管後使用される時はスリーブを取り外した後、スリーブ外周に付着したゴミを抜き取りオイル又はグリースを塗ってください。(モリブデン系の減摩剤を含有したオイル、グリースは使用しないでください。)
- (3)スプロケット本体の回転止めを行いナットを手締めすることでロックスプロケットを軸の所定位置に又は所定位相位置に仮固定することが出来ます。



(※)軸間距離とスプロケットの心出しについては下表の値以下にしてください。

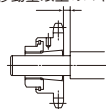


軸間距離 (C)	心ズレ (δ)
1mまで	±1mm
1~10m	±C(mm)/1000
10m以上	±10mm

- (4)トルクレンチを使用し規定締め付けトルク MA (右表) でナットを締め付けてください。
- (5)ナット締め付けに対して軸又はスプロケット本体の回転止めを確実にして締め付けてください。スプロケット本体の回転止めの一方法としてスプロケットのハブ外周部に穴を明け、穴に回り止め棒を使用する方法があります。(穴明加工後はバリ・カエリを十分除去ください。)

(7)締め付けに際してスプロケット本体はナットと反対方向に0.2~2.0mm程度移動しますのでスプロケットアライメント及び軸の段に注意してください。

移動量以上のスキマ



(※)スプロケット本体の回り止め方法としては

- ①シャフトをパイプレンチ等で固定しナットを締結してください。
- ②ハブをパイプレンチ等で固定しナットを締結してください。
- ③ハブに回り止め穴、溝を設けフォックスパナー等で固定しナットを締結してください。

■取り外し

- (1)スプロケットと軸にトルク、スラスト荷重が掛かっていないことを確認した後、ナットをゆるめてください。
- (2)ナットをゆるめるに際して、軸又はスプロケット本体の周り止めを確実に行ってください。
- (3)ナットをゆるめることにより軸とスプロケットの締結が解除されます。

■一般注意事項

- (1)ナットの締め付けに際しては、必ずトルクレンチを使用してください。手締め、パイプを継ぎたした締め付け等不正確な締め付けは正確な伝達トルクを得られぬばかりかトラブルの原因になりますのでお止めください。
- (2)トルクレンチはご使用になるトルクレンチの取扱説明書に従い正しくご使用ください。

■保守点検

- (1)定期的な締め付け状況の確認をしてください。
- (2)保守点検は必ず荷重を取り除いた状態で行ってください。

■Nタイプスリーブ寸法表

スリーブ 枠 番	軸穴径 mm	スリーブ 寸法 L1 mm	ナットの 二面幅寸法 mm	伝達トルク Mt		ナット締め付けトルク MA	
				N・m	[kgf・m]	N・m	[kgf・m]
N1	7	5	18	22.7	[2.32]	18	[1.84]
	8			26.0	[2.65]		
	9			29.2	[2.98]		
N2	10	6	22	42.0	[4.29]	28	[2.86]
	11			46.2	[4.71]		
	12			50.4	[5.14]		
	14			104.0	[10.61]		
N3	15	8	30	111.0	[11.33]	65	[6.63]
	16			119.0	[12.14]		
	17			161.0	[16.43]		
	18			171.0	[17.45]		
N4	19	10	36	180.0	[18.37]	100	[10.20]
	20			214.0	[21.84]		
	22			236.0	[24.08]		
N5	24	11	41	257.0	[26.22]	130	[13.27]
	25			370.0	[37.76]		
	26			385.0	[39.29]		
N6	28	11	46	415.0	[42.35]	200	[20.41]